曜して配送を行つたが、第一次ソロモン海戦で致くも歌悲した米空母がさらにガダルカナル勝方館に 冊立無機の米垂兵を敷戦すべく戦 配二点、残俗巡岸艦敷奥および襲逐艦多數より成る機動部隊をもつてニューへプライズ群勝方配から 観象にも北上艦取し來りながらソ

大本警戒軍報道部議長平出夷大大路は廿八日午後七時半からエーケーのマイクを通じ『第二次ソロモン遊戲について』と

等一 平出大佐放送

紫に空母の飲造および建造に大角となつてゐる話を推漑し、 園園の緊郁一番を累認するとともにかかる儆麽を空襲することなく官 ン東方電上においてわか活動影陰に神虚された第二來海職の全觀を明らかにし、「米の熱陶な反響企圖を説明ののち、米滅の建艦能

攻撃し、 25つことを、 猛然これに殺到

を偵察發見するや否が、わが艦隊はこれ

ンギ、ガダルカナル島救援の態

じにすることは人道の國と部

された連りである。この海戯にお、ふと同時に他の方廊よりの脅撥を飾師縣刊で得たことはすでに登及一は蹶起となって蔣襄豫の衝光を行のの歌歌。もつて邯緊治觀史福に帰 たところによると、この銀空群艦の砂磁。もつて 世界治 観史語 に称

らうと思つて ぬた 矢先のこよもや旧綴ぐ受験の選ばなか

米別の悩みな、何といつて ど、 脱版に 対する 場内 半洋における制海臓への

なは遊び下版の部形で怠ら

に手舞となった現状に於ては

維持の上からも、特に抵制

のと見られる程であつて、

に異常なる動質を悪へた。そ れは既に第一次海戦において

への解心を與へしめるためだ

またも米新大学空母一 さるわが海東部隊によって 說社

米のゲリラ戦

れも数へることが出來るであ 戦に對する第二戦線問題のい

急速なる階級改造を化てざる

一方大型階級

米図であつてみれば、将来は

ることと思ふので戦況の話はこの

我は常に先手

の獣に関し、われ等はわが記 家の間では見られてゐる。も **向けつゝあるやにさへ、駅内母、他は部大型潜水艦に振り**

とより一畝の説であるが、

豊康は祝空職および三十六分間 し得たのであるが、その後報明し

断方面に上陸し、わが守衛隊と對

救援しなければならな かつたからである が厳除な廿四日これをソロモン

が深襲に流しかね

係上後壁にその姿で沿し、漫場 下部世をはじめ、 會敬時歌の期 を完全に朧かめ得ずしてこれを

ものであつて、敵は全を 撃固なることを物語るを 撃固なることを物語ることを物語る

響や微り駆逐されたにかくはら

米政府の政略

米躍起の建艦

自信ある兵力を 保有わが方は 絶對不敗のた兵力の 優勢でも的に兵力の 優勢でも的に兵力の 優勢でも

活の幸福を保職

滅し 得るのである、やがては 敵戦力を撃 略的態勢を

に損害を與へ、 断はもない 戦艦一隻 ない 一般航空母艦二隻を 炎し

的勝利であることは申あつて、わが方の絶對

大佐

既に散れ、みずくかいるが

すまでもないことで、この

ンの孤兒』となつた 孤立無 援の『ソロ

※プロモン連載において一部十四男を容響として考うじて連載。 おくれば暴蛩ツラギ、ガタルカナル かり 部 除撃滅 レーてアメリカの解望日曜は激活艦、得て響場にも原樹北上して来た、

する重度政権を初め米英敵國陣營へ與へる精神的影響は蓋し甚大なるものがある。 なほ弥姫歐大家について累無祭園には『暗神使の密遊があり、ここに日滿菲泰アジャ 獨立四國の緊密なる紙幣は一分の搖ぎ

の機動完全粉碎

戒心すべき米の空母建造

加至母職、中型統②世職二隻を ロモン海職において職は新大型

これに膨膨二多、残

w 動を粉碎し去つたので をたかが想像される本意識 でにかが想像される本意識の機

一般開された、この第二次ソロ

職一隻を大磯し、摩敦監一隻を失わが方もこの溶戦で小型航空は

わが絕對勝利

変されたのである。 レ

屋はし

されるば

込めば注ぎこむほどこ

の閣議において三特派大使の派遣を決定、上奏御規可を經て同四時、政府より公表した、三韓派大便はいづれもお師一派の人物でありかつ関盟政府との照察 も選がらは朦朧ひである。かゝる一流を網羅して特派することの持つ意義はそのまゝ日華關係の萬代不變さを物語るとともにさきに思くも高熹宗殿で

車月 頁六共刊夕朝日本

海相、首相要談

藏相ご要談

【東京特電】田中政務総監は甘

田中政務總監

大界語戦郭紗学るや時改俗は郷早く劉男を養し東聯郭經2選の項司目的や常男子のよの福る日的をもつて中華 民國に 特派大使を派遣することに 決定せり、

遺の趣旨またことに展のためには全幅の

み日華提携のいよく 緊要なるを 痛感するとともに

は削に欣快に堪へざるところなり。 ばかるべき部の決意を明かに

固小成の精神をもつて難局に配むとともに、簡時随所日本と協力して終局目的の完全なる達成を

依

秀

市氏快著

價一圓六〇、粒二段, 田六判•本女二八五頁

【東京電話】場田海和は廿八日午

國民政府に答訪特派大使 日華の紐帯萬代 千山 警告した ・ 一時間に減り累散権立しき を専門、多識ののも同三岐五十分 日午後二時半大藝術にか財動権行 後二時四十分自相は既に東條首相

正二位勲一等 有田 八正二位勲一等男群 平沼 騏 一工三位勲一等男群 平沼 騏 一

井田 脚八一

郎郎郎

川田 瑞穂 川田 瑞穂

特派大使並に

、水井三氏を派遣

日に滑り窓湾の意味でもつて「帝國」政府は今回、客話使節として、元音相平沼騏一郎男、元外相行田八郎、元遞相現大政党、特別記局にベル井柳太郎の、國と職へ、東部解院に對する際周の勢力に測算を適用するとともに、わが続々たる戦場に割り配置を凌ずるため、焼穀部長着協訂氏や特派大使として来継せしめた。この二面にわたる規域政府代表の紡髪をらしめた、しかしてこの間、昨年六月には往主院自ら中華院園元郎の登録をはて東朝し、日華院園是郷の郷池を示めのものにしたが、さらに本年五月末には大正電戦野災に対しる機能政府代表の紡髪をもしめた、しかしてこの間、昨年六月には往主院自ら中華院園元郎の登録をはて東朝し、日華院園長地の郷池を示めるの他となが、さらに本年五月末には大正電戦野災に対しての関係の決意が流には本統領の承認をも得てあるが、大東電戦策機の一環としてその関係的供給、確

大教育部管島 重、信外教育部管島 重、信外教育部管島 重、信

富浪沼

興亞院調查官 E

川田中

正五位動三等 中井川 正五位動三等 中井川

重包带

社會式核策黃潤鹽

使として中華民國へ被差遣中華民國國民政府に對する答訪のため特派大







ひ試験部は日本よりの答話候館 外交部・宣傳部共同公表

の揺ぎなきことが立設され、大東型新株所の建設に対送

年次科·同十五年福新協關議長 大平、明治四十四年司法文官。 大平、明治四十四年司法文官。 大平、明治四十四年司法文官。 大平、明治四十四年司法文官。 大平、明治四十四年司法文官。 大平、明治四十四年司法文官。

三大使 の

一条 大士二家、三十八年早大政系科 大士二家、三十八年早大政系科 大士二家、三十八年早大政系科 大士二家、三十八年早大政系科 大士二家、三十八年早大政系科

この断た増えつくあるのであるとを る時こちらの軍艦もま 行くのである。はこれを個々撃破して、破の完成を前にわが方 艦を建造し終るのを待

定價五十

想戰

Ö

民族精神と其實現が

蟋

尾崎喜八

下 文 型

<u>冷</u>

Ŵ

.

學論

すれば敵が 如何に大鼻を挫いて 行きさへ先手を打つて 敵の出

用し、艦船、 飛行機 のには如何なる 非いや絶對に勝たいや絶對に勝た 数ふならば顕然と起わ上られ



能

▼第二戰線と船舶…足利五郎 ▼獨ソ 戰 展 望…大場彌平 下 都 (鹽鹽) 間宮茂輔

くてはならぬ快著

最 │ 選舉の陽聯性を 論じ 闕内諸問題を取り上げて日更に雄渾の嘚想を驅つて、大東亞戰爭の見透と衆議院總

最

唆して絶讃を博した著者が勝てり』の一書を公判して

は尚我に、反 七七五八五京東馬國公芝京東本日 行 發 房 書 閣 文 秀

底は内政にあるを知らねばならぬ。

秋、嚢に『米英撃滅我れ

の機を窺つてゐる。外交とい

ひ、軍事とい

日本朝野を鼓舞し、

333454567788911223445456778781222344545677878999< 空 微 動 - 六〇 - 六〇 -ô 1.10 -五 0 - 六〇 進目

素で風め、汚れ縮まりショキンを防いで夏涼し 体力原因を、 頭気性が功力と防虫防骸性の個化 体力原因を、 頭気性が功力と防虫防骸性の個化

和 十八 年度

國語。本質

場教 金六十卷

京東音景 會學業工本日大 獨國資富

自動機派技術 車

I

阿片斷禁から十年

の代が加へられると同時に一**職の施制は収**機を辿られた。 で読るしき影響を興へるに至り、盲目的な金蘭東主義

大、米 の勢力を一糟する興際アジャ時代のクライマツクスを子が恰成当年目にめといふべき年が恰成当年目にめたって不及ことは貴に販債深い

「新京廿七日同盟」脈撃的南京隊 紫瀬川の道・満洲建図

産金政策近く重大轉換

1至2 | 全種調息研修開を有機所に一部 七月會計 異型 1174 4 11 以り、以て線合所機能を設備せり、資源商業調査・1月中における観1774 70 めることは現下機能の変勢である。内會電量動燃税は耐速圧十重、増

夕刊後の市況

本社寄託献金 **番島京旅府新堂町一二〇國防献金(陸軍)**

部不良のため物政権中が場の既

合上の敵性

別の監験版は廿八日午後一時三分一際に進んだ、終了十一時五十七分駅青大會中等野線観決勝の平安中 は十時から開始一對響で観島間決

四回で無勝負電話」三度商對平中戦(甲子園

團體·學校

教徒及びキリスト教徒がそれぞし ・ 一般などである。 ・ これに戻し帰敬に選択として基 ・ で表し地環は苦患の皮に癒じて ・ である。 偶へば画数 ・ であるが、こがや ・ であるが、こがや ・ であるが、こがや ・ であるが、こがや ・ である。 のでは一般などである。

れ軽い方から二番目及び三番目 に選わるのに對し、何教徒、印度教徒は他の偶像崇拜教徒と共 に六番目の重議に落らればなら ないのである

に繋がれてあることの紹料である。その他からの電視者なのだ。しかだ我の職機が製練であると、要するに出度、1000円の選を貨幣的、に過ぎず他はすべて在来の印度級が対抗である。要するに出度、1000円の に過ぎず他はすべて在来の印度級が対抗である。その他からの電視者なのだ。しか

への厳英常園に對し版祭酬耶の戈を ・ 教つたことも決して歌無ではない

選の要綱決る

三笠總裁宮妃殿下台臨じ

関し、砂の火脈種目、青が年間かり、砂の火脈種目を残に早くも好レースを展出

庭球リーグ 日程決る

若人の意氣軒昂 ||神宮夏季大會開幕

王 れるのが、今の取皮が他と回教他と 英國側の所謂『取皮の不安』が

對印度教徒の問題

に都愈の中でも回田面敷建はそ一に突込んで繋へれば、樹本的で楽に優勢で、散地方総入口の七割 しかしかうして残多の原以立要に関する。 東に同 へらればするが、その大部分は脚

とは明白である(六) に至うて

「英』驅逐が共通目標

史實が語る回 印提携

於ても、現在見る如き回、田洞 数地の行時は構成がことといる。 更では、英文紀の複数ごと日的 回数問題解決への根本的前様で あることを更と飛力中立値する ものといくよう

・一九二七、八年、図段倉庫

の配販がそれに輪をかけるので、

總計金百二萬一千六百二十五圓三錢

東村安山 著東村安山 新村製業 飲文 大村製業 飲文

^課吉田松陰遺文集

クトプ塔 売る房デリーにいまなほ原 たる房デリーにいまなほ原 なるタトプ塔はアフ なと雖えるクトプ塔はアフ がといまなほ原

日増しに掃滅

要い抗病力を縮びませう。要い抗病力を縮びませう。
要い抗病力を縮びませる。

2

で能率を低下せぬよう…へから、呼吸器系の病氣 二人分も三人分も働かね

防衛力強化

田小岩 響權辰 配一雄

漢字制限と 假名 遺・寒渇久孝世界史の動向と日本・細川嘉六

近代戰爭史研究了松村秀逸

要属石佛寺の今昔・太田をは米爾國防の脆弱性・前 島・豆

南方文化

キャン監獄脱出記・篠崎護

恒伊川東

野村來栖兩大使の心理

譯詩小見…會津八一

作創 丹 羽 田 文 雄 潤

獨上

試験場を視察

新像歌や計正して明年集には、関所の江原道と眺い歌幕・岡山 る大物部のもので「顕着の江原道と特殊が高校として主音選目の となつた、この歌雀派は既に 一ケ第二百五十歳床・吹音子が野歌術校として主音選目の となつた、この歌雀派は既に 一ケ第二百五十歳床・吹音子が野歌へ一大進賦を見す着説を 南戦・中戦の二ケ所に大海長 から戦化じ段計された経験は

本社符託献金 惠福

固き

護らう勇士の家

慰問袋や遺家族慰問なぞ

日の丸の下で働く獨人船長 獨の

金妻 大語の























土木建築尸機器 一般工場用機器 運搬荷役用機器 電線及鐵 • 鋼類 資本金 三億五千八百萬圓 474



陸軍美術協会總督府美術等

會社館

(3)

製品概目

大小 人兒 の

整

膓

E

アメスチン

製材

松病 野専門

果せ祭ある義務

得税など納期迫る

感新た、關東軍報道隊戰史旅行

東京麻布本村町伊東化學研究所東京麻布本村町伊東化學研究所といれ十二色(新しい肌色四種)

(東京管話) 本年度の木炭生産湖 八樹五千萬樹部保を目指す農林省 一个番詞、橋萊島、內野、顯道、厚生

半島の代表決る

【東京電話】今次の災害は九州

刚布蓬透漪

養成所(奉天市)修巻二ヶ年鳴費不県子生 徒募集

敬吾

本民俗組の創始者が初めて世におくる人門の書。民俗単に於て取 民俗

柳田幽男

新館 権力 海 () 2 日本 (

東

製木粧平牌網 等級 文那經濟研究 亞と世 界 多科三 十

闇の横行も不親切心から

宋 京城職業紹介所 東城職業紹介所

(有に周聚名有)



軍隊喇叭數十箇を不 域に解念がない 文化之

この数字

[2]

氏に師事して高度の研鑽をつん

著者の體驗記。これてそ生きた南洋領域・関学の生活記録

國風會選歌

| 本町一ノ五三 | 検試 | 南川 | 八九一 | 日本町一ノ五三 | 神武 | 南川 | 八九一 | 女子事務員言

男子社員採用 男子社員採用 男子社員採用

<u>᠅ᢖᠵ᠅ᡓᡀᢋᠼᠯᠵᡥᠵᡎᠵᡊᡊᡊᡊᡊᡊᡊᡊ᠘ᡮᡙᡙᡡᡊᡙᠵᡊᠵᡊᠵ</u>ᢜᡳᠵᢊ ᢒᡳᠽᡳᠽᠽᠽᡙᠽᡳᠽᡊᡊᡊᡊᡊᡊᡊᡊᡊᡊ 6日本ニュース白十五 4世 曾 の 5草 6 木 6 生きての 4世 曾 の 6日本ニュース白十五

十五の 行 五数の 変師 校ン

植村製業は曾社配達員募集

京劇

南江林業株式會社

が、 対水界・ 政務である「 電流」 著音士 に ので式 著音士 に

「一大学院」 「「大学院」 「「大学院」」 「「大学院」 「「大学院」 「「大学院」」 「

2 1、日本ニュース (1 三五) (1 三五) (1 三五) (1 三五)

計[

安田銀行崛支店

電視の響及が活体になる。 電視の響及が活体になる。 電流を変えるが、 は、野美商店

(1.6) (1.6

がら』

都竹伸一(繪)

三 前に水質詞を発む 帰光四三五七亩 電子 発光四三五七亩

特别案内

は、 ・ 本の、 ・ では、 ・ できる。 にて五新以上の家を京石

タイピスト

コートなれば他の日の領域を対している。 「大変な、数単の自然を対は国でアベートを対している。」

と信頼を推つてある、今来海峡からの公正かつ悟へ目な駅に破

聯合國最高會議設置か

英、伯に軍艦

盥廻しの老朽艦.

質問題として不可能であり筬來戦局に重大不利を來たした場合つねに繰返される聯合國協力作戰指導問題の再供ターリンおよび蔣介石があげられてゐる、たゞしこれらの各國最高首腦を集めて常設的會議を構成することは四のソシントン訪問も同樣これと關聯があるといはれる、最高會議構成員としてはルーズベルト、チャーチル、スて聯合國最高會議の設置が眞剣に協議されるものと見られてゐる模樣である、オーストラリャ首相カーチンなビリスポン計声日同盟]ヴェリントン來電ーニュージーラシェF克(モバーシェ) わが發表公正無比

第二次 第二次の 敗北は 最然

#版 | (報報として際へるNCころによれー五 | 二十七日トルコ外務電原に達し |盟]|ロイター通信メル|南太平洋反櫔軸聯合軍|隊が二十七日早朝西濠||【リスポン二十七日同|ポルン電によれば、西|司合部は日本軍航空部

獨軍遂にボ

ル

ガ河畔に到達す

鋒、破竹の南下進撃

スターリングラードレ

米株式惨落す

今夜放送

【東京電話】大本選和軍報道學課

葡嚴正中立 伯の要求を斷乎拒絕

に對し野戦が告したプラジル 獨軍ノ市に

がる。忽ち凱曲一瞬だっ

時の録音

ム(羅)を痛爆

こゝにある。だが廠じて米燥る長期骸のゲリラ瞰なる所以は

を要す。

獨軍戰況發表

重要據點を占領 コーカサス戦況、獨軍發表

割も、民もたど勉強

だ、悉公

見る。

【ソスポン二十七日同盟】ロイター通信ロンドン電がビシーよりのラジオ放送として傳へるところによれば、獨軍の南下進撃に移つたの南下進撃に移った。 【ストツクホルム特電】(#Know) クイビシエフ よりの情報によれば、スターリングラード 北方のドイや軍先鋒部

赤軍の防禦線を突破。二十六日夕刻早くもズボフカに進出しボルズ河畔に到信ロンドン電がビシーよりのラジオ放送として傳へるところによれば、獨軍

【ベルリン甘七日同盟】獨取司令一一、スターリングラード西方地區 コーカサス戦線における影響 で赤軍は獨軍の深く打ち込んだめ

ストツクホルム特電】(世七日愛) スタ

ソスポン二十七日司盟』ビシ

中へ風きってお困りの方へ なかはつて下さい。 夏桑無代徳星は難のシハイギルの はイギタンスで高風暖等単級でお用りの方へ が、はスタールといめ良瀬一度がたがしまい の東京市中と原台町十二 進 文 館 の東京市中と原台町十二 進 文 館 を選集者でたる様田とより個別を 設明 を実施者がたる様田とより個別を 設明 を実施者がたる様田とより個別を 設明

文館

慰問 袋 IJ 1 は是 グ容器 非 御入れ 東 舗 阪 東 活作 楽品 部 日本・京城 人 下さ 加 拾 鈛

新 發 賮 護身救急常備藥消 化 素 香 料

く、共に

戊 超讃上映中 北鷹劇 原政劇

痛み止めにオセドノン◆ MM

一般用映畫

兩氏の餘禁

合川を渡つて奥地へ進撃する陸戦隊勇士(中部や

の完度はどれなくして映徐し、設徽の都子歌場を叫びたであり立近な景影説明、武士 たることを誇弄し、別版の教養方配の川郷法が設まました。

思される時には戦略に受際

演劇人と道義

國民購買力の膨脹

利局技師 興亞院調查官 下列

水際立つた颯爽剣ノ痛快無比! 豪快三十六番斬り 大近日 公 留 地

獨伊佛三函協力で強力の低物を



安かれ南方戰の華

あす京城師團慰靈祭

英靈歸る

五段

8817 58645 39835 60045 留水ラギレビ液虫製 社会或体验实验周大









田

安 + 牌學



1







交換船龍田丸

の記念日に一

京城の慶祝式

月十五日國都新京に載行されるが「催、終職所施教説」

瀬洲建國十周年盛程式製は来る九一十周年記念展覧會

お臺所へる三割増配

南方ものは駄目

矢野橋村(徐)吉川英治(作)

間け

ふ鬼

式株

保衛

日東集某

int.